

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	2059
事業名	普及啓発費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 循環型社会推進				
	課長名	岡本 俊幸	担当者名	夏村 智之・大西 隆	電話番号	211-2912
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	ごみ排出量の減量(1人1日当たり100gの減量) 家庭から出る廃棄ごみ量の減量(1人1日当たり340g)			
		長期	ごみ減量・リサイクルに対する市民意識の高揚を図り、市民のごみ減量行動を促進し、家庭から出る廃棄ごみ量を減量する。			
	取組内容	家庭系ごみの減量・リサイクルの推進に関する普及啓発事業 ①各種イベントへの参加及び支援 ②ごみ減量啓発パンフレット製作や啓発品購入 ③出前講座など各地域・団体への普及啓発				
実施結果	①ごみ減量啓発イベント(「環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー」出展)(アクセス数499件) ②大都市減量化・資源化共同キャンペーンにおいて啓発品を共同調達し、イベント参加者等に配布した。 ③出前講座への講師派遣回数18回(参加者数351人) ④乾電池などの排出ルール変更などの周知のため、チラシを市内全世帯に配布した。					
事業実施における工夫点	イベントに参加する市民を増やし効果的な啓発を行えるよう、イベント配布啓発品を魅力あるものとしている。出前講座はパワーポイントを用い、わかりやすい説明となるようにしている。チラシには資源物などの分別や充電式電池の出し方も載せ、適正な排出の促進を図った。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例					
他都市の状況	普及啓発施策は、各都市一様ではなく、各都市の実情に合わせて、様々な施策を行なっている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	1,973	22,177	3,292	17,085	
うち特定財源	24	0	0	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	4,133	24,337	5,452	19,245	
事業費の内訳	令和3年度決算	○大都市減量化・資源化共同キャンペーン負担金 970千円 ○乾電池等排出方法変更に係る広報(チラシ配布)費等 2,024千円 ○古紙回収ボックス修繕費 138千円 ○その他(小型家電回収ボックスの賠償責任保険料等) 160千円			
	令和4年度予算	○ごみ減量・資源化促進に係るPR掲出費等 9,476千円 ○小型家電回収方法変更に係る広報(チラシ配布)費等 1,300千円 ○啓発品購入・パンフレット印刷費等 3,865千円 ○その他(大都市減量化・資源化共同キャンペーン負担金等) 2,444千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	出前講座・出前教室への講師派遣回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	8回	10回	18回	変更予定	
活動指標2	指標名	ごみ減量啓発イベント実施回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	0回	1回	1回	変更予定	
成果指標1	指標名	出前講座・出前教室参加者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	307人	307人	351人	変更予定	
成果指標2	指標名	ごみ減量啓発イベント来場者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	0人	2000人	499人	変更予定	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	<p>○出前講座として、18回講師を派遣し、351人の参加者へごみ減量の啓発を行った。</p> <p>○ごみ減量啓発イベント(「環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー」)を1回実施し、499人の来場者(アクセス数)へ啓発を行った。</p> <p>○ごみ減量啓発イベントは新型コロナの影響もあり、当初予定していた成果指標は達成できなかったが、できうる限りの成果を上げた。</p> <p>○チラシ配布によるルール浸透により、乾電池の適正排出が大きく向上した。</p>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<p>○出前講座は当課で3テーマ用意しており、ごみに係る様々なテーマに興味がある市民のニーズにこたえられる適切な規模である。</p> <p>○ごみ減量啓発イベントや企画は、「ごみ減量キャンペーン」などを2R推進費でも実施しており、本事業は、環境総合イベントである「環境広場さっぽろ」への年1回の参加が適切な規模である。</p> <p>○排出ルールの変更は市民生活に大きく影響するため、全市民への周知が必要であり、全世帯へのチラシ配布による周知は適切な規模であった。</p>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<p>○出前講座はごみ減量・リサイクルに興味のある方へ効率的・効果的に啓発を行うことができる。</p> <p>○ごみ減量啓発イベントについては、環境分野の様々なブースが設置される一大イベントである「環境広場さっぽろ」に参加することにより、多くの市民に啓発を行うことができることから、適切な実施手法である。</p> <p>○全世帯へのチラシ配布は、例年全世帯に配布している家庭ごみ収集日カレンダーといっしょに配布することで、効率的な実施であった。</p>			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	<p>○出前講座は、パワーポイントによるわかりやすい説明を心がけ、必要に応じて啓発冊子やチラシなどを配布し、対象者のニーズに合わせた情報提供を行っており、受講者からの反応も好評だった。</p> <p>○ごみ減量啓発イベントは、前年度に引き続きバーチャル開催となったため、当課ブース内にてごみ減量・リサイクル施策に係るパネル画像・PR動画等を掲示したほか、クイズを実施し、高評価であった。</p>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	市民のごみ減量意識は高まっているものの、雑がみや容器包装プラスチックについては、分別協力率がまだ60%程度であるため、正しい分別について普及啓発していく				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインでの講座を行った。			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナ感染拡大の影響もあり、当初予定していた規模では普及啓発事業を行うことが出来なかったが、オンライン等を活用し昨年以上の普及啓発を行った。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 新型コロナ感染拡大防止の対策を取りながら、ごみの減量・資源化を推進し、廃棄ごみ削減となるごみ分別の普及啓発などを行っていく			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 各事業を精査し、効果的な取り組みを行っていく			見直し効果額